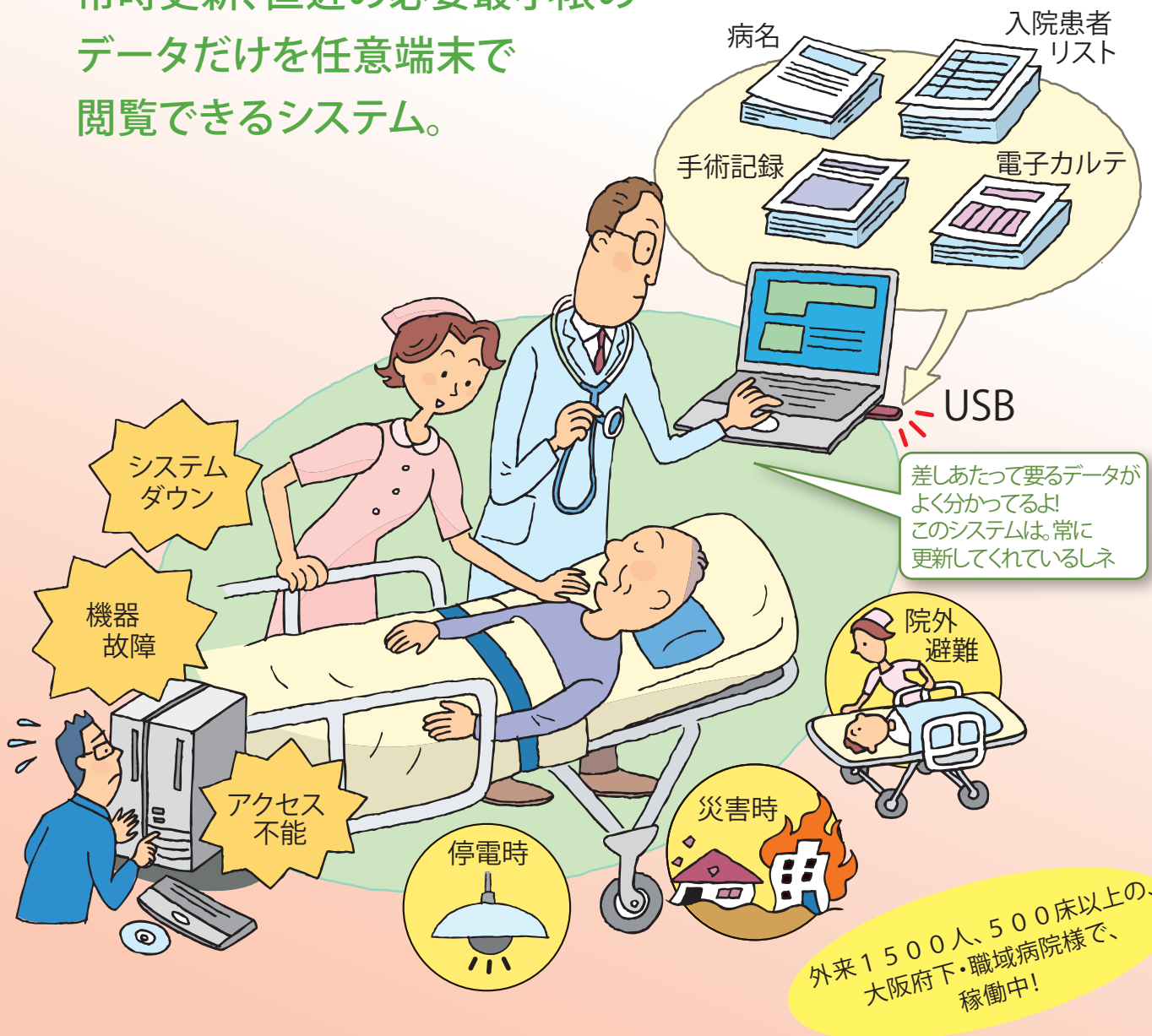


緊急時電子カルテ閲覧システム

Doktor HELKue

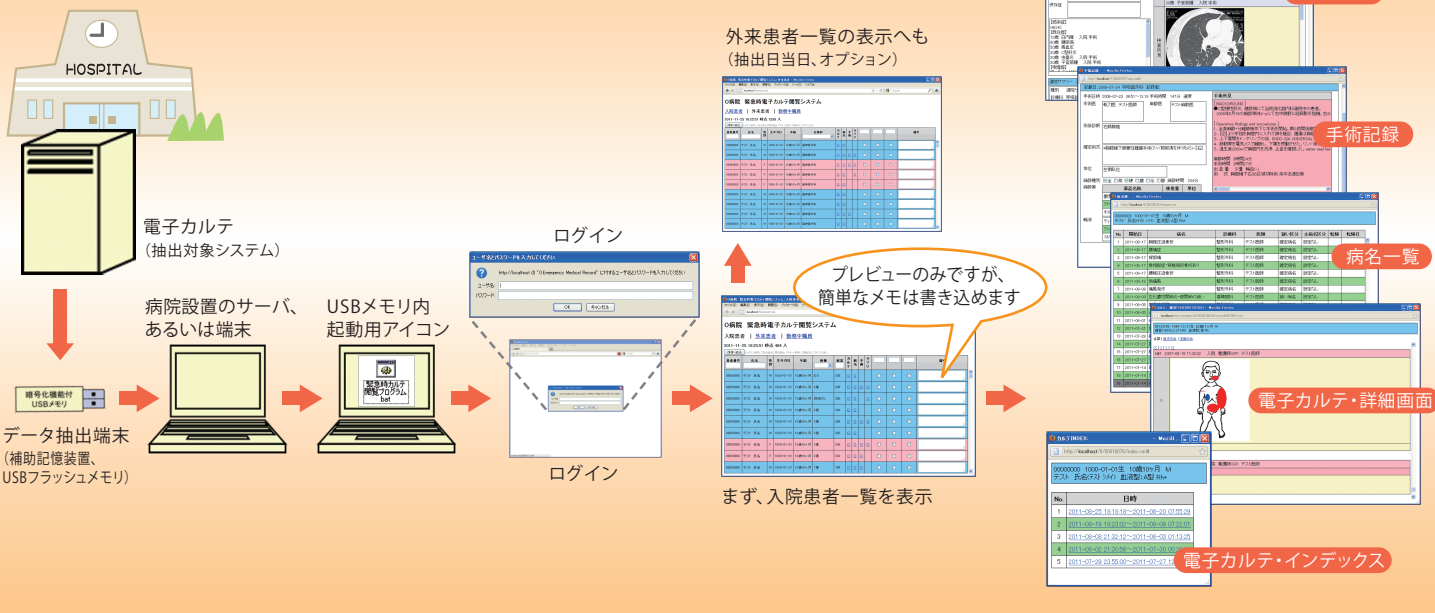
“想定外”では、すまされない!

緊急時の対策はお済みですか?
常時更新、直近の必要最小限の
データだけを任意端末で
閲覧できるシステム。



“想定外”ではすまされない…! システム投資の一環に加えたい、緊急時のこと。

緊急時電子カルテ閲覧システムとは



緊急時に必要最小限のデータを常に更新し、格納しています。

病棟の入院患者のカルテや、薬の処方。電子カルテのシステムにアクセスできなくなった緊急時に、まず確保したいデータを抽出できます。電子カルテシステムと同じ職員ID、パスワードでノートPCや一般PCなどの端末で閲覧できます。抽出データは定期的に更新されたものです。オプションで、外来患者のカルテも閲覧できるなど、システムのカスタマイズにも柔軟に対応します。

【抽出内容】●患者プロフィール、●病名歴、●手術記録、●退院・転科サマリー

大きなシステム投資がなく導入は容易。運用も、オープンなハードとソフト。

サーバーに蓄積されていく医療データの中の、直近の必要最小限のデータ。それらだけを持出し可能な状態に常時加工・圧縮され、抽出媒体に格納されます。抽出媒体は基本はUSBメモリですが、ノートPCなどの内臓ハードディスクでの運用も可能。サーバーにアクセスできなくなるなど緊急時には、必要なデータ、ソフトウェアがすべてパッケージになったUSBメモリをピックアップするだけです。

【ソフトウェア】●Java開発キット(JDK)、●ブラウザFirefox

暗号化した個々の情報など、最新の技術をいかしたセキュリティ対策。

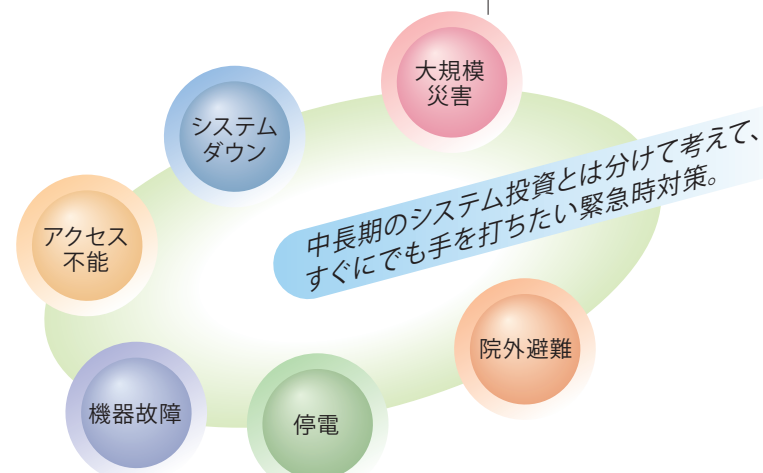
その医療機関で使っているID、^{パスワード}PWでなければログインできないのはもちろん、個人情報は暗号化されており、万一の紛失時も情報漏洩しにくい仕組みを採用しております。

【セキュリティ】●パスワードは、不可逆なハッシュ値に変換しています。

●カルテデータの取られた圧縮ファイルは、256ビットAES方式で暗号化。復号パスワードも非公開。

＜カスタム対応について＞

カルテデータをプリント出力したい、PDF化して送りたいなどのご要望には、カスタム対応いたします。抽出媒体をUSBメモリではなく、ノートPCにすることもできます。システムでは、まず入院中の病棟患者のデータを対象にしていますが、外来患者、その他部門別のシステムデータなどにも、カスタム対応いたします。



構築実績先、大阪府下・職域病院様の概要/仕様

- 535床、1日の外来患者数1500人の大規模医療機関
 - 2011年8月より導入・稼働中
 - 1時間ごとにデータ抽出
 - 1処理に要する時間は約15分
 - 2GBの暗号化機能付きUSBメモリ使用。
- 実質、ソフト200MB、入院200MB×2、外来200MB×2。
- 他に、入退室管理システムより、職員の勤務状況も抽出。

医療システムに特化するイードクトル



株式会社 イードクトル
〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路1丁目1-35 幹線東ビル
TEL06-6324-6222 FAX06-6324-6211

お問合せ

このカタログの記載内容は2014年5月現在のものです。システムの仕様等は、改善等のため予告なく変更することがあります。